

# 平成26年度採択 地域主導型公共事業

長池まちづくり協議会  
(城陽市)

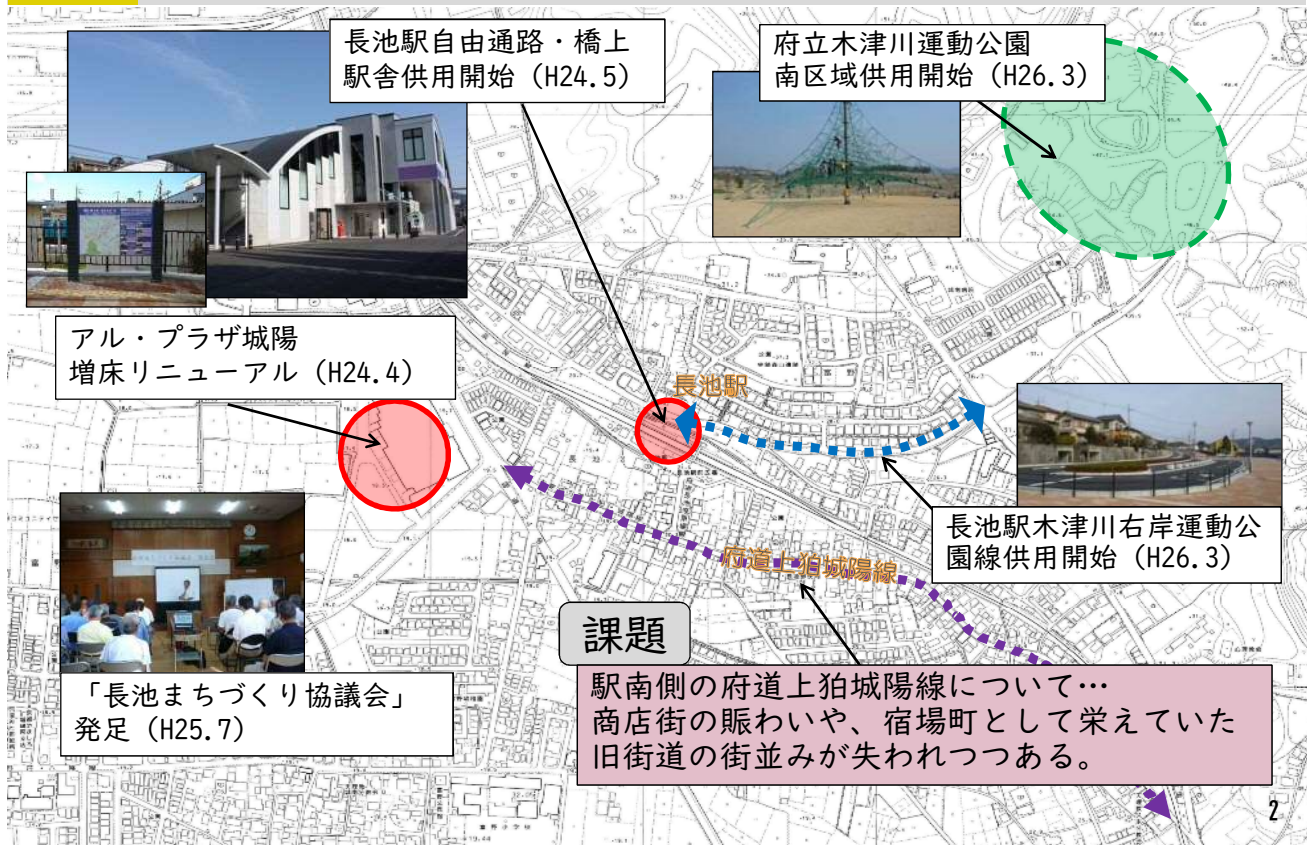
おこしやして長池へ  
～旧街道の賑わいまちづくり～

令和2年8月

## 事業箇所



# 地域の現況と課題



# 事業の概要

テーマ：長池駅の南北を繋ぎ、  
地区内を回遊できる新たな歩行者動線、賑わいの創出

## 地域

- 地蔵盆、宿場町の街並み等の**地域資源**を活用した**各種イベント**実施
- 街道沿いの街並みを演出する沿道での**取り組み**

など…

## 市

- 都市計画道路の整備
- 自由通路、橋上駅舎整備、交流スペースの整備、案内サイン等の整備
- 路面に**案内プレート**設置
- まちづくり協議会への支援

## 府

- 道路の**美装化**
- 交差点**照明**の修景整備、駅への**案内標識**設置

[ イメージ ]





# 事業計画図



4

# 京都府の実施内容

【 交差点照明の修景整備 】

【 道路案内標識設置 】



【 道路の美装化 】

【 交差点の美装化 】

整備後

整備前

5



# 城陽市の実施内容



長池まちづくり協議会作成



## 【案内プレート設置】

美装化された府道へ『長池宿 名所・旧跡地図』をもとに、森山地蔵堂、松屋を始めとした6箇所に案内プレートを設置しました。

# 地域の取り組みや活動①

## 地蔵盆 (毎年 8月23日)



子ども達の掛け声で賑わう旧街道

旧宿場町としての歴史を感じさせる街並みへ



お地蔵さま巡り

## デジタル紙芝居 (適宜実施)



嶋利兵衛の物語

長池宿の大蛇退治



子どもからお年寄りまでをつなげるプロジェクト

## 地域の取り組みや活動②

おこしやして長池へ（年2回の定期開催）

長池宿の賑わいを再現し、地域活性化の一助とするとともに、長池の歴史や文化への関心を高める



駅前市



旧街道への出店



長池宿名所・旧跡めぐり

『長池宿名所・旧跡地図』  
を利用して街中を散策



# 平成27年度採択 海の京都綾部地区地域主導型公共事業

令和2年8月

(綾部市・海の京都綾部地区協議会)

1

## ■事業箇所（位置図）



(綾部市の概要)

- ・京都府の北中部に位置する。
- ・高速道路は舞鶴若狭道・京都縦貫道が市域にてクロスする。
- ・鉄道はJR山陰本線・JR舞鶴線が市域を通る。
- ・府北部「海の京都」の玄関口
- ・綾部駅周辺の市街地と、その周辺に広がる農山村地域により構成
- ・繊維産業とともに栄えた町並み
- ・町中に綾部で開教した宗教法人が立地

2



## ■地域の現況・課題と解決策

### 【現状と課題】

- ・綾部市は、有名観光地も無く、観光入込数も少ない。
- ・京都府北部を全国有数の観光圏にしていく「海の京都」の取組
- ・「あやベグンゼスクエア」「あやベ特産館」のオープン
- ・「グンゼから大本に至る街並み」を海の京都の重点整備地区に位置付け

### 【解決策（提案概要）】

- ・アクセスする府道と「あやベグンゼスクエア」周辺を統一的なデザインとする演出
- ・観光客の受入体制の充実や観光情報発信



府民参加型公共事業委員会(仮称)

### 【委員会での意見】

- ・家族連れが車で訪れても街中の散策を楽しむことができるよう、駐車場や周辺施設のサインの設置やルートづくりを検討されたい。

3

## ■事業の概要

～「グンゼから大本に至る街並み」全体の魅力向上に、京都府・綾部市・地域が一体となって取り組む。～

### ○府事業

- ・周辺府道の高欄、舗装、手すりの改修、歩道のカラー化、案内標識の設置

### ○市町村事業

- ・「あやベ特産館」の運営、グンゼスクエアのPR等を委託し、集客力の強化を図る。
- ・スクエア周辺市道の案内看板の増設。道路照明、車止めを統一カラーに整備
- ・各種情報媒体を活用した観光PRの実施。
- ・関係団体、地域との連携による、民間の取組の支援・推進。

### ○地域の取組や活動

- ・綾部バラ園やグンゼ博物苑の運営・施設の充実
- ・町屋の活用などによる観光客等のおもてなしや受入体制の充実
- ・大本を会場とした「あやベもみじまつり」の充実や大本行事のPR等

4

## ■事業計画図



5

## ■府事業（完成整備箇所）

○歩道のカラー化



○案内標識の設置



6



## ■市町村事業（完成整備箇所）

- 「あやベグンゼスクエア」を拠点に施設の運営を商工会議所に委託し、市内外に広く情報を発信し、観光施設として集客力の強化に努めている。



- 「あやベグンゼスクエア」をより分かり易く案内するためのサイン看板を設置した。



7

## ■地域の取組や活動

- ボランティア団体において、バラ園の維持管理を実施



8



# 平成27年度採択

## 舞鶴地区地域主導型公共事業

MAIZURU

# 舞鶴



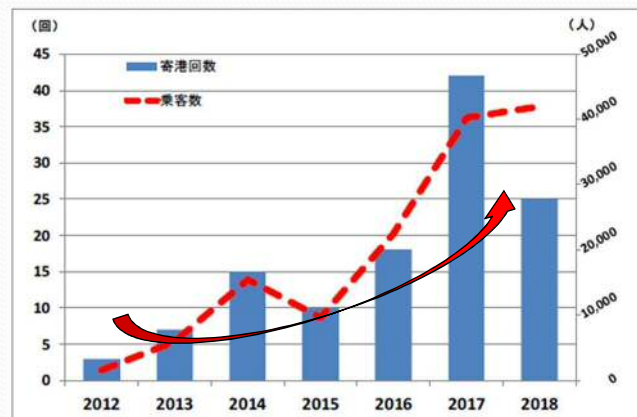
京都舞鶴港おもてなし  
関係者連絡会議  
令和2年8月

1

### 事業箇所



- 当該地区は、京都府北部地域の舞鶴市の西市街地に位置。
- 中心市街地内には、田辺城跡を始めとする細川幽斎公ゆかりの多彩な城下町などの歴史文化資源が点在
- 舞鶴市の観光入込客数は、年間約254万人(H29)で、ここ10年で倍増。また、大型クルーズ客船の乗客数はH29で約4万人とH25の約7倍で、外国人旅行者が急激に増加傾向。



舞鶴港へのクルーズ船の寄港回数の推移

2



## ■地域の現況・課題と解決策

### 【現状と課題】

観光客が急増する一方でまちなかへの引き込みが課題

- ①歴史文化を感じさせる景観整備が出来ていない
- ②クルーズ船受け入れ施設が不十分
- ③地区内の案内標識が不十分

### 【解決策（提案概要）】

クルーズ客船の乗客やその他の観光客をまちなかへ誘導するため、歓迎のぼりの設置、ふ頭内での歓迎行事や観光・通訳ガイドなど市民主体のホスピタリティを実践する

- ①周遊ルートの歩道拡幅や修景舗装などで歴史文化を感じさせる統一した景観整備を実施
- ②既存上屋を活用したターミナル等整備を実施
- ③府、市、地域が一体となって、周遊ルートの案内標識の統一化・多言語化を実施

### 【委員会での意見】

国際港としての新しい文化形成が期待される。大型クルーズ船寄港の際に寄せられる外国人観光客からの要望等を会議で共有し、景観形成やお金を落とす仕組みづくりを行っていただきたい。

3

## ■事業の概要

海の京都のゲートウェイ「京都舞鶴港」を核としたホスピタリティ環境整備に、京都府・舞鶴市・地域が一体となって取り組む。

### ○府事業

外国人観光客が港から商店街や観光施設へと移動をスムーズに行えるよう、陸上ターミナル機能として歩行者動線の環境改善に取り組む。

### ○市町村事業

田辺城址を核として回遊性を高める「歴史のみちづくり整備」の推進を図り、京都舞鶴港を訪れる人々にとって魅力的なまちづくりを進める。

### ○地域の取組や活動

「京都舞鶴港おもてなし関係者連絡会議」を設置し、歓迎のぼりの設置、ふ頭内での歓迎行事や物販、観光・通訳ガイド、市街地拠点での着物着付けや書道体験・琴の演奏など市民によるホスピタリティを実践する。

4



# 府事業

②ターミナル整備(府)  
観光拠点施設「海の京都駅」

①修景舗装(府)

③標識整備(府、市)

舞鶴市

国道175号

国道27号

JR西舞鶴駅

田辺城まつり

整備イメージ(桂林寺付近)

- 歴史文化資源
- 臨港道路・国道175号歩道整備
- 歴史の道回遊ルート整備

大型クルーズ船 寄港状況 (第2埠頭)

西港

臨港道路

国道175

西地区「まちなか」  
(歴史のみちづくり整備)

「道の駅」舞鶴港  
とれとれセンター

臨港道路の横断

幅員構成の見直し

歩道幅員の拡幅

車道幅員の縮小

歩道部

車道部

歩道部

整備前

歩道整備(拡幅・カラー舗装)

案内サインの設置



# 市町村事業


## 西港(第2埠頭)へ

## 歴史のみちづくり整備

とれとれセンターへ

**整備内容**

整備イメージ



現状



整備イメージ



現状



田辺城址を核に城下町風情のまち歩きを促進する



統一されたデザインでかつ多言語化された案内板

凡例

- 歴史のみち候補
- 寺社
- 芸屋台展示
- 歴史文化資源(町家、近代化遺産等)
- 舞鶴百撰
- 市営駐車場
- 拠点駐車場



田辺城まつりの武者行列



### ○歴史のみちづくり

歩車道を区別化し、歩道は歴史的な風情を醸し出す石畳風に整備



### ○照明灯・サイン設置

和風のLED灯具に更新  
石碑(サイン)を設置



## ■地域の取組や活動

### ○入出港セレモニー・パフォーマンス

クルーズ客船の入港時に、地元高校や市民団体による和太鼓や吹奏楽の演奏等による歓迎セレモニーを開催するほか、出港時には、青いハンカチやライトを振ってのお見送りなどを実施。



市民団体による和太鼓演奏

### ○京都舞鶴港クルーズサポーター

2013年からクルーズ客船寄港時に、外国語での案内や様々なパフォーマンスを披露いただける市民サポーターを募って、おもてなしを実施。

サポーターは現在73名の登録があり、主に英語や韓国語の通訳案内のほか、着物着付体験なども実施。



クルーズサポーターによる着物着付体験

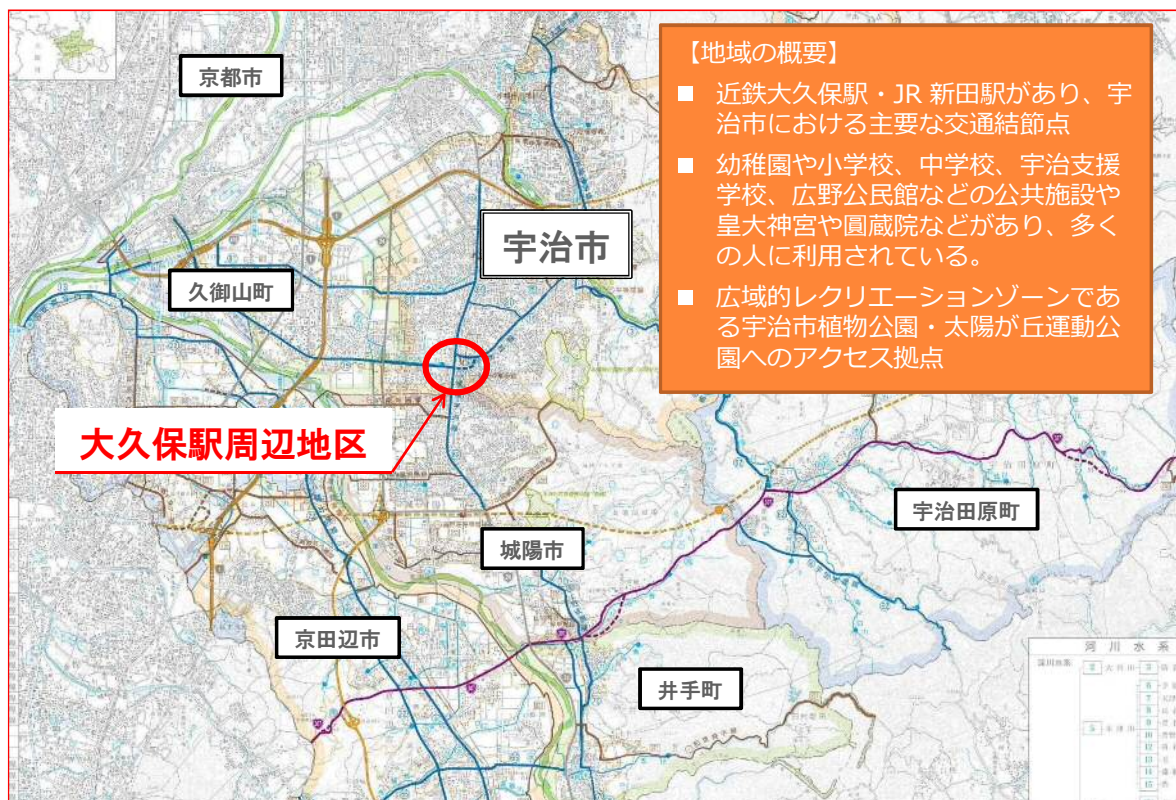


# 《平成28年度採報》 大久保駅周辺地区 地域主導型公共事業



令和2年8月  
(宇治市・広野地区自治会連合会)

## ■事業箇所（位置図）





# ■地域の現況・課題と解決策

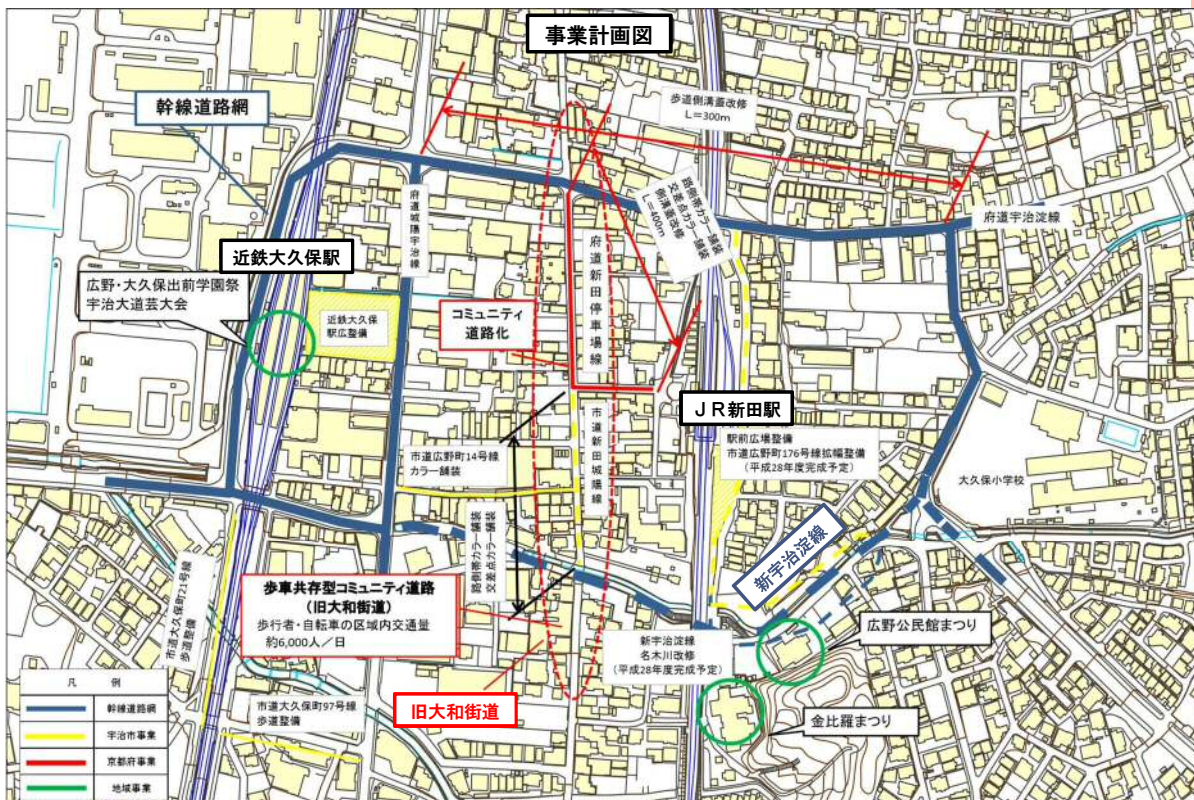
## 【現状と課題】

- ① 幹線道路の慢性的な渋滞や、歩行者が安心して歩ける歩行空間の不足、バリアフリー化の対応不足。また、旧大和街道は、渋滞の抜け道として通り抜ける車両が非常に多く、通学路であるが幅員が狭く歩行者の安全な通行に支障
- ② 名木川の散策道整備については、新宇治淀線事業区間が未実施で「水とみどりの道」の周遊ルートの早期完成が必要
- ③ 毎年秋に開催していた広野公民館まつりが、新宇治淀線工事の影響で5年間中断

## 【解決策】

- ① 旧大和街道(府道新田停車場線、市道新田城陽線)の路側帯カラー舗装化、府道宇治淀線の側溝蓋改修により安全な歩行空間の創出を図り、児童への登校指導などの地域活動との相乗効果により、地域の安心安全な道路環境を構築
- ② 近鉄大久保駅、JR新田駅の駅周辺整備及び両駅周辺の結ぶ市道や名木川修景施設整備を進め、水とみどりの道としての回遊性向上、地域資源を活かした安全・快適な歩行者動線を確保
- ③ 5年間中断していた、広野公民館まつりの再開、広野・大久保出前学園祭宇治大道芸大会などの近鉄大久保駅でのイベント実施により、他地域からの入込客数増加を図り、地域コミュニティの活性化と賑わいを創出

# ■事業計画図





## ■事業の概要

宇治市の広域拠点として安全な歩行空間と地域の賑わいを創出し、『歩いて楽しい大久保づくり』の実現

### ○府事業

- ◆府道新田停車場線のコミュニティ道路化(路側帯及び交差点カラー舗装)
- ◆府道宇治淀線の歩行空間の確保(側溝蓋補修)

### ○市町村事業

- ◆市道新田城陽線のコミュニティ道路化(路側帯及び交差点カラー舗装)
- ◆JR 新田駅東側駅前広場及び市道広野町176号線整備  
(駅前広場整備・市営駐輪場整備・道路拡幅整備(歩道設置))
- ◆準用河川名木川改修及び修景施設整備

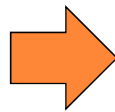
### ○地域の取組や活動

- ◆近鉄大久保駅での地域住民、地元企業、京都文教大学の有志による「広野・大久保を盛り立てる会」による「広野・大久保出前学園祭」開催
- ◆宇治大道芸大会などによる地域の活性化と賑わいの創出
- ◆広野公民館まつりを他の地域からも人が訪れるようなイベントとして再開し、地域コミュニティの活性化と賑わいの創出
- ◆児童の安全確保のため、「地域安全協力員」による登校指導の実施

## ■府事業（完成整備箇所）

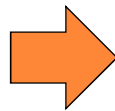
### ○府道新田停車場線

路側帯及び交差点のカラー舗装



### ○府道宇治淀線

歩道の段差解消(側溝蓋改修)

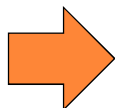


段差解消

## ■市町村事業（完成整備箇所）

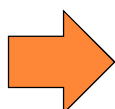
### ○JR新田駅周辺整備

JR新田駅東側駅舎の新設に合わせた駅前広場の整備



### ○市道新田城陽線整備

安全な歩行空間の形成としての歩車共存型コミュニティ道路の整備



6

## ■地域の取組や活動

### ○児童の登校指導

広野地域の児童が大久保小学校へ通学する際に、通学班への付添や横断歩道での安全指導など、児童の安全確保のために「地域安全協力員」が毎朝活動を継続している。



### ○広野公民館まつり

新宇治淀線工事の影響から安全面を考慮して、平成23年度から5年間中止した公民館まつりも再開され、地域コミュニティ活動の活性化と、にぎわいの創出に寄与している。



7



# 平成28年度採択 鶴ヶ岡地区地域主導型公共事業

令和2年8月

京都府南丹土木事務所

(背景: 頭中山から白山連峰を望む)

## 位置図



### 美山町地域の概要

・南丹市美山町は、面積の96%が森林に覆われており、国の重要伝統的建造物群保存地域に選定されている「かやぶきの里」を有するなど、日本の農山村の原風景を色濃く残す地域。

美山町金峰団



# 事業箇所



## 鶴ヶ岡地域の概要

- ・「西の鯖街道」の宿場町として栄えた地域。
- ・宝永2年(1705年)に始まったとされる火災予防を願った「上げ松」行事がまだに残る。
- ・棚野川と西川の合流点となっており、水害に強い町づくりを行っている。

# 地域の現状・課題と解決策

## 【現状と課題】

- ・平成13年より「鶴ヶ岡振興会」を設立、平成19年には「鶴ヶ岡中心地整備構想促進委員会」を設立し、「住み続けられる町づくり」に取り組んできた。
- ・当地域は、過疎化・少子高齢化により昭和35年から平成27年までに人口が約6割減少し、高齢者率も42%と高く、地域の活性化が課題。



## 【解決策】

- ・親水公園を設置し、河川景観の形成や「上げ松」により観光客を誘致し、地域の活性化を図る。



# 事業概要

## 【府事業】

- ・護岸整備
- ・親水公園設置

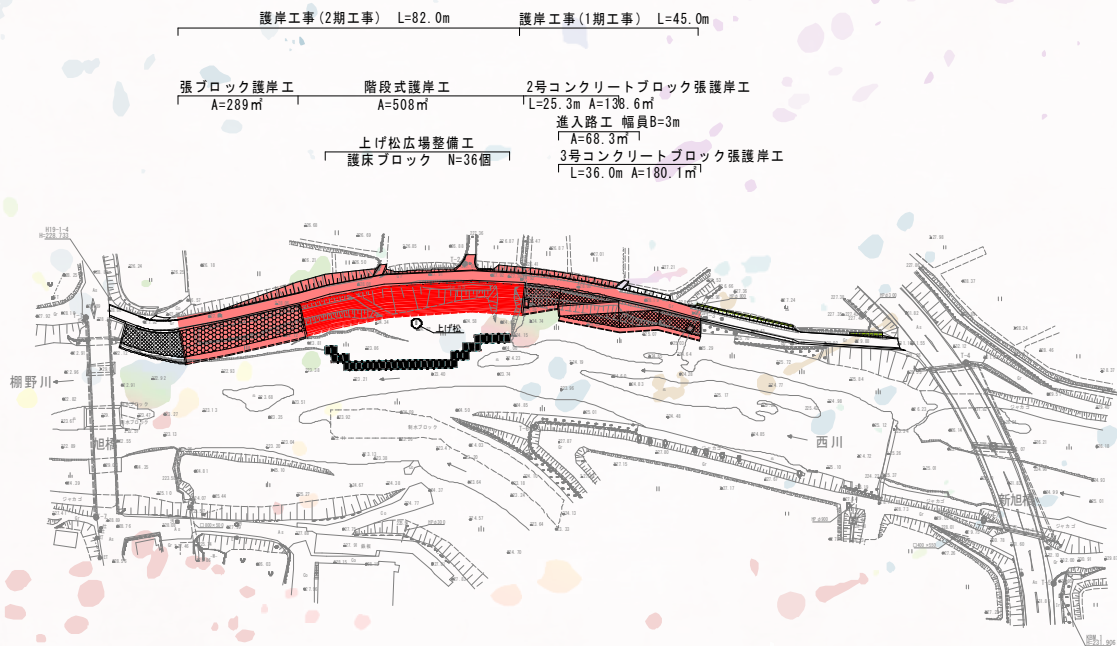
## 【南丹市事業】

- ・看板の設置
- ・各イベントや観光誘致の支援

## 【地域の取り組み】

- ・親水公園でのイベント開催(上げ松、魚つかみ取り大会等)

# 事業計画図





# 府事業(完成整備箇所全景)



# 府事業(完成整備箇所)

1期工事  
・護岸工事



整備前



整備後

上流側に向かって撮影



# 府事業(完成整備箇所)

2期工事

・護岸工事、上げ松広場整備工事



整備前



整備後

下流側に向かって撮影

# 南丹市事業



・観光客誘致に繋げるため、上げ松の説明用看板を設置予定

※令和2年度秋頃に設置予定

# 地域の取り組み



## 地域の取り組み

- ・上げ松
- ・百姓体験、木こり体験、狩猟体験
- ・鯖のなれずし教室
- ・しめ縄教室
- ・松茸ツアー
- ・小・中学生の農家宿泊体験学習
- ・高齢者等無償移送サービス

etc....



# 地域の取り組み

平成25年度

## 鶴ヶ岡地域振興計画



鶴ヶ岡振興会



鶴ヶ岡自治振興会が中心となり、地域振興計画推進プランを作成し、短期目標、中長期目標を掲げ

- 1にぎわう地域づくり
- 2やすらぐ地域づくり
- 3かがやく地域づくり
- 4うるおう地域づくり
- 5つながる地域づくり

の実現に向けて取り組んでいます。